

2024 年度
事業報告書



学校法人草苑学園

1. 法人の概要

1.1 法人の概要

名称	学校法人草苑学園
所在地	171-0031 東京都豊島区目白三丁目 17 番 11 号
電話	03-3953-4016
FAX	03-3952-4387
ウェブサイト	www.soen.ac.jp

1.2 建学の精神

スクールモットー 信仰・希望・愛
祈り

本学園は、キリスト教の精神を教育の理念に掲げ、1954年にキリスト教保育者たちの「キリスト教に基づく教育で保育者養成を」という願いから設立された。

「キリスト教の精神」とは、人間は一人ひとりが神によって作られた尊い存在であり、それゆえにお互いを尊重し、常に隣人に対して愛を持って行動することに具体化される。幼い者、弱い者のために働く保育者が目指すべき精神そのものと言える。

キリスト教に基づく教育とは、互いを尊重し、相手によらず目の前にいる人に思いやりと援助の気持ちをもって行動できる人格形成を目指すものである。

これを具体化するために、草苑学園は2014年にスクールモットーを、「信仰・希望・愛／祈り(祈りによって支えられた 信ずること、希望を持つこと、愛すること)」と定めた。

1.3 沿革

- 1950(昭和 25)年 八景坂幼稚園の設置認可。
- 1953(昭和 28)年 全国のキリスト教主義幼稚園からの声を受けて、キリスト教保育連盟に教諭養成所設立準備委員会が始動、翌年1月18日の理事会にて役員派遣を議決。
- 1954(昭和 29)年 日本キリスト教団原宿教会内に「原宿高等保育学校」(夜間)が開校。(4月26日に開校式及び入学式を挙行。この日が草苑学園の創立記念日である。) 文部大臣より幼稚園教諭養成機関(指導校・青山学院大学)として指定を受け、保育者養成に当たる。初代校長に佐藤初重先生が就任。

1956(昭和 31)年	現在地の東京都豊島区目白(旧成蹊女子学園跡地)に校地を得て、「原宿高等保育学校」及び「八景坂幼稚園」を移転落成。
1957(昭和 32)年	「学校法人草苑学園」の設立認可(2月11日)。「草苑高等保育学校」及び「草苑幼稚園」と名称変更。
1978(昭和 53)年	高等保育学校新校舎(現本校舎)竣工。
1981(昭和 56)年	「草苑高等保育学校」は、学校教育法の改正により専修学校として認可され「草苑保育専門学校」と改称。
1984(昭和 59)年	「草苑保育専門学校(昼間部)」認可開設。
1985(昭和 60)年	「草苑保育専門学校」は、保母養成施設の指定を受け、幼稚園教諭と保母の両資格を取得できる専修学校となる。
2005(平成 17)年	「草苑保育専門学校(夜間部)」廃止。
2010(平成 22)年	幼稚園舎を耐震改築。
2010(平成 22)年	専門学校を男女共学化。10月生入学を新設。東京都の保育士職業訓練委託を受け、保育士養成科定員40名を受け入れ開始。
2011(平成 23)年	専門学校第二校舎新築落成。
2013(平成 25)年	専門学校本校舎耐震補強工事完成。
2014(平成 26)年	専門学校創立60周年(スクールモットー制定)。
2015(平成 27)年	一般社団法人キリスト教学校教育同盟に加盟。
2016(平成 28)年	幼稚園隣接地を取得。
2017(平成 29)年	専門学校に学生寮を開寮。
2018(平成 30)年	専門学校が職業実践専門課程の認定を取得(文部科学省)。
2021(令和 3)年	学校法人青山学院との間で、教育連携協定を締結。
2024(令和 6)年	草苑学園創立70周年(講堂改修)。 専門学校で子ども家庭ソーシャルワーカー認定資格指定研修を開始。
2025(令和 7)年	専門学校に保育士養成コースを開設。

1.4 設置する学校

設置する学校	学校設置認可
草苑幼稚園	1950(昭和 25)年 11月 4日 (八景坂幼稚園として)
草苑保育専門学校	1954(昭和 29)年 5月 13日 (原宿高等保育学校として)

1.4.1 園児・学生

2024年5月1日現在

学校	収容定員数	在籍園児・学生数
草苑幼稚園	80	67
草苑保育専門学校	300	258

1.5 理事・監事

定員 理事9人 監事2人

2025年3月31日現在

職名	氏名	期間	常勤/非常勤	備考
理事長	柳内 光子	2003.4.16～	非常勤	山一興産(株)社長
理事	阿江 美知代	2023.5.26～	常勤	草苑保育専門学校長
理事	小澤 智子	2022.4.1～	常勤	草苑幼稚園長
理事	柳内 えり	2014.4.22～	常勤	草苑学園総合企画室長
理事	上村 清	2018.6.1～	非常勤	(株)内山アドバンス会長
理事	福島 啓充	2009.3.18～	非常勤	弁護士
理事	池坊 保子	2016.8.12～	非常勤	特定非営利活動法人萌木理事長
理事	山本 与志春	2016.8.12～	非常勤	青山学院長
監事	矢島 義幸	2014.7.1～	非常勤	税理士
監事	江積 恵	2021.5.25～	非常勤	元青山学院監査室長

法人は、次の非業務執行理事等との間で、上限額を10万円とする責任限定契約を締結している：
上村清理事、福島啓充理事、池坊保子理事、山本与志春理事、矢島義幸監事、江積恵監事

1.6 評議員

定員 19人

2025年3月31日現在

氏名	期間	備考
阿江 美知代	2023.5.26～	草苑保育専門学校長
小澤 智子	2022.4.1～	草苑幼稚園長
柳内 えり	2014.4.22～	草苑学園総合企画室長
山田 明男	2018.6.1～	草苑学園入試広報部長
古屋 四朗	2018.6.1～	草苑学園総務・財務部長
竹原 有基	2021.3.24～	草苑保育専門学校教務部長

遠藤 撰	2015.6.5～	草苑幼稚園職員
池谷 陽子	2024.3.26～	草苑保育専門学校同窓会長
宮本 妙子	2024.3.26～	草苑保育専門学校同窓会副会長
石川 正美	2021.3.24～	草苑幼稚園卒園生
柳内 光子	2003.4.16～	山一興産(株)社長
池坊 保子	2016.8.12～	特定非営利活動法人萌木理事長
上村 清	2018.6.1～	(株)内山アドバンス会長
武田 剛	2018.6.1～	(株)内山アドバンス
小川 洋二	2024.3.26～	長原教会牧師
中村 早苗	2024.3.26～	横浜プロテスタント研究会役員
福元 真由美	2024.3.26～	青山学院大学教授

1.7 教職員

2024年5月1日現在

区分	教員区分	人数	職員区分	人数	教員・職員	人数
幼稚園	専任	7	専任	1	専任	8
	非常勤	8	非常勤	0	非常勤	8
	計	15	計	1	計	16
専門学校	専任	9	専任	13	専任	22
	非常勤	40	非常勤	6	非常勤	46
	計	49	計	19	計	68

1.8 施設等

学園が所有する校地・校舎

2024年5月1日現在

所在地	東京都豊島区目白三丁目17番11号			
土地	4199 m ² (付属の私道等を含まない。)			
建物	幼稚園	園舎	1階建	375 m ²
	専門学校	第一校舎	一部4階建	2415 m ²
		第二校舎	2階建	345 m ²
		学生寮	2階建	267 m ²

2. 事業の概要

2.1 草苑保育専門学校

2024年度は教育内容の刷新、地域連携の実践、学内活動の活性化に取り組んだ。

特に70周年記念式典においては学生有志による手話の披露をはじめ記念事業を一年間かけて教職員ともに実施した。

2.1.1 学生状況

2024年5月1日現在

	男子	女子	合計	定員	充足率
1年生	27	90	117	150	78%
2年生	26	96	122	150	81%
留年・休学等	10	9	19		
総計	63	195	258	300	86%

※東京都委託訓練生を含む。

2.1.2 教育内容の刷新

今学期は少人数での学びの場を中心に、自分自身の興味関心のある分野を深めるため、「保育・教職実践演習Ⅱ」の一環としてゼミナールを5コマ実施した。学生は各ゼミの特色を踏まえて自ら選択し、他クラスとの協働もみられた。いくつかのゼミでは、草苑幼稚園、近隣保育園、児童館において学んだことを実践できる機会を設けた。

「保育総合教養」の授業では、新入生に向けてゲームを用いたチームビルディングや、伝承あそび（和太鼓、けん玉、お手玉）を通して、保育における協働や表現の体験を重ねた。さらに、循環型社会を目指している木材パレット会社の社長および社員を招き、ワークショップを開催した。保育に必要なコミュニケーション力を育むことを目的として展開することができた。

2024年度も残念ながら中途退学者が多数であったため、今後はより具体的な退学抑止策および予防支援の在り方について、継続的に検討を進めていきたい。

2.1.3 地域連携の実践

2024年度はIKE・Bizとしま産業振興プラザ内の子育て広場で毎月行われているお誕生日会において、学生と教員による模擬保育を行った他、草苑幼稚園および近隣保育園で開催されたお祭りにも参加し、実践の機会を得ることができた。今後もより多くの学生が地域の子ども達や幼稚園、保育園と関わる機会を持てるよう、さらに取り組みを広げていきたい。

オレンジリボンキャンペーンについては、年間を通じて継続的に取り組み、学生の委員会と教員の連携のもと関連書籍の展示を行った他、11月にはオレンジリボンたすきリレーに7名の学生が参加したのは大きな成果である。

2.1.4 学内活動の活性化

2024年度は美化委員、掲示・デザイン委員、オレンジリボン委員・ボランティア委員と3つの新たな委員会を立ち上げて、年間を通じて活動を行った。掲示・デザイン委員においては、クリスマスカ

ードの応募に幼稚園の園児にも参加してもらい、草遊祭にてコンペ形式で選考を行った。その結果、園児のカードが採用され、学園として発送をした。また、数枚のイラストはクリスマス礼拝のポスターとして使用した。

草苑保育専門学校では、各期に入学式・オリエンテーション、修養会、草遊祭、クリスマス礼拝・祝会、卒業礼拝、卒業式などの行事を計画している。これは単なる「学校行事」ではなく、一つずつを通じてアドミッションポリシーに掲げた「目標とすべき保育者」になるための「教育プログラム」である。2024年度は70周年記念をテーマにした草遊祭について記載したい。

2.1.5 草遊祭「70周年 Anniversary」

2024年度は「70周年 Anniversary」というテーマで開催した。学生達が専門学校での言葉を中心に各クラス独自のキャラクターをつくった。また学習発表のコーナーの設置や学生中心に子ども向けの人形劇や演奏会など例年より多くの催しを開くことができた。近隣へポスターを貼り、子ども達への呼び込みや卒業生に声をかけ、約400名の来校があった。各クラスの話し合い、準備、実践を通して、保育者として子どもの発達に合わせた内容を取り入れ、クラスメートと協力する姿がみられた。来校した子ども達がとても喜び様子もみられた。

また講堂で昨年から引き続き、幼稚園と共同してけん玉大会を実施し、参加者一同がとても良い時間をもつことができた。オレンジリボンの活動のアピール、いのちのことは社、Big Issue、福祉作業所2園、外部の飲食店など多様な団体の協力を得て、大変にぎやかで充実した草遊祭となった。

2.1.6 礼拝

70周年記念事業の一環の講堂改修工事が滞りなく進められたことは感謝である。これを記念し、講堂改修感謝礼拝も行った。学生達に70周年の歴史を知らせるとともに、新しくなった講堂にて、青山学院より寄贈された十字架を前に、日々落ち着いた雰囲気の中で礼拝を行うことができている。また学園の建学の理念を再確認し、教職員の出席が増えたことで、学生と一緒に静謐な時間をもつことができている。

長年にわたり本学の礼拝を担当してくださった高橋陽一牧師、加藤眞衣子牧師、小川洋二牧師が2024年度をもって退任された。約10年にわたり本校の礼拝を支えていただいたそのご労に、心より感謝を申し上げます。

火曜日は、日本バプテスト 川越キリスト教会 丸山勉牧師に金曜日は聖ヶ丘教会 藤井清邦牧師が担当して下さる。

〔2024年度の主題聖句〕

今年度70周年を迎える草苑保育専門学校の原点である草苑の由来を教職員、学生一同に周知することを目的として選んだ。

「知れ 主こそ神にますまれ。われらを造りたまへるものは主にましますば
我らはそのものなり。われらはその民 その草(ま)苑(き)のひつじなり。」
旧約聖書 詩篇 100 篇 3 節

2.1.7 就職支援

就職支援センター主導のもと教職員のこまやかな履歴書指導により 2024 年度は約 97%の就職率を達成した。公務員は 20 名合格。2024 年度 3 年次編入者はいなかった。

2.1.8 学生募集活動

2024 年度の学生募集活動は、昨今の保育士需要の高まりを受け 2025 年 4 月より「保育士養成コース」を開設。従来の「幼稚園教諭・保育士養成コース」と新コース「保育士養成コース」を選択できるようになる。

【目標】募集定員の達成

【施策】

- － 高校生に対して、進路ガイダンス、SNS、チラシ、DM などを活用して、情報提供を行い、本人が希望するコースが選べる学校として、入学から卒業までをイメージした広報戦略の展開。
- － オープンキャンパスでは、高校生や保護者に直接学校の雰囲気伝えるとともに、体験授業や個別相談を通して、細やかな対応で本校への理解を深めてもらう。また高校生にとって身近な存在である学生スタッフは重要であり、積極的に活用。
- － 本年 4 月に全面的に学校案内をリニューアルした。主として高校生や保護者、高校教員に草苑の雰囲気やカリキュラムをパンフレットを通して伝える。
- － インスタグラムや LINE を中心とした SNS 活動による資料請求者・来校者の増員。
- － 来校者数増加を目的とし、高校訪問や新たなガイダンス業者と契約し、本校のターゲット校のガイダンス獲得。

2.2 草苑幼稚園

2024年度は、3 学年合同運動会、一泊保育、草遊祭では保護者会主催ミニバザーを行うなどコロナ以前に行われていた行事をいくつか復活させた。保護者の理解や協力も得られ、大きな事故なく実施することができた。

子どもたちの成長の可能性を信じ、子どもたち一人ひとりの持つ力が発揮できるために今後も保育者のあり方、意識を高めていきたい。

(1) 在籍園児数 (2024年5月1日現在)

3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計	充足率
22	23	23	68名	85%

(2) 預かり保育

預かり保育の定員は 25 名としている。フルタイムで仕事をしている保護者は、定期預かり保育を利用している。定期預かり保育の定員を各学年 6 名までとし、全体で 18 名としている。残り 7 名はスポット預かりとしているが、年々預かり保育のニーズは高まっている。

(3) 2 歳児クラスさくらんぼ

1 期 13名 2 期 11名 3 期 12名 4 期 9名 各期平均 11 名

園庭開放: 1 年間平均 3 名参加

(4) 課外教室(小学生も含む) (2024年5月1日現在)

チア	書道	体操	絵画	計
10	50	30	17	107

2.2.1 保育内容

(1) 異年齢保育の充実化

3 学年合同での活動(運動会や青空アトリエなど)を通し、学年を越えて関わり合う機会を増やした。年中児、年少児は年長児への憧れを抱く姿や、年長児は年下の子へ気遣う姿を見せるなど互いに良い影響を受け育ち合う姿が見られた。

(2) キリスト教の精神を保育へ

青空アトリエを開催、自然の恵みに感謝し、自然物を使った思い思いの製作活動や、キリスト教保育連盟夏期講習会で教員が学んできた「シロアムの園」の施設について子どもたちに伝え、一人ひとりが花びらをつくり「シロアムの花」を全園児で共同制作をおこなった。子どもたちと話し合い、シロアムの園へ献金をおこなった。

(3) 基本的な生活習慣の強化

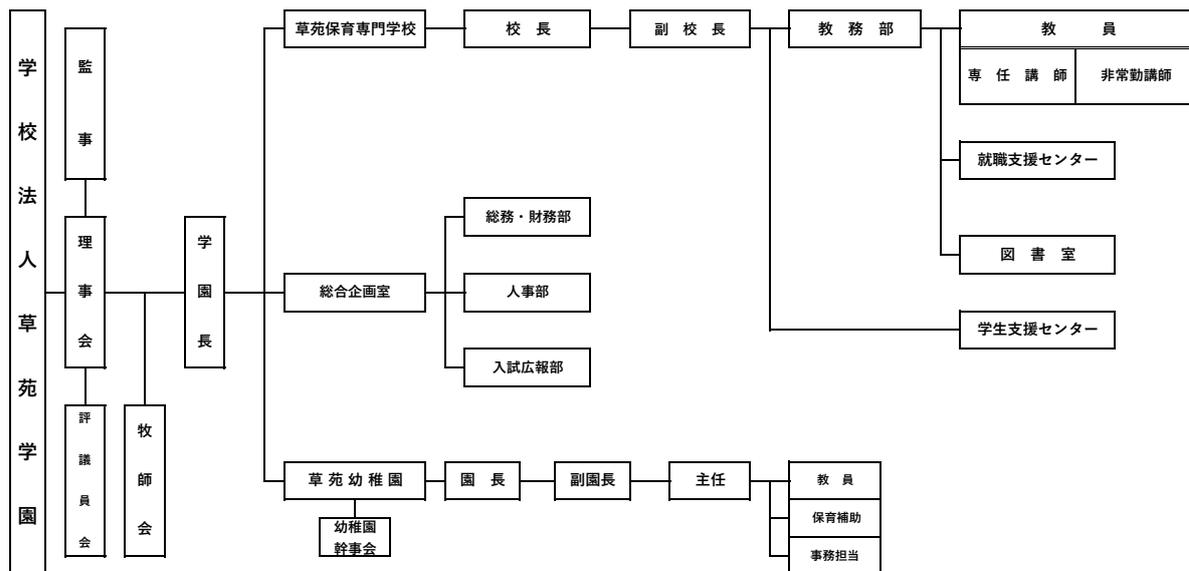
特に朝の挨拶を強化。子どもたち一人ひとりが自信を持って挨拶ができるよう心掛けた。また、身の回りの整理を自分で行えるように力を入れた。保護者にも一緒に意識してもらえるよう保護者会で伝えた。今後も意識して取り組めるようにかかわっていきたい。

2.3 組織と運営

2.3.1 組織編成・教職員体制

2024年度は以下の「組織図」のように学園組織を編成した。

草苑学園 組織図



2.3.2 草苑学園創立 70 周年記念事業

2024年4月の創立70周年記念事業を下記のように行った。

(1) 「記念動画」「記念パンフレット」の制作

草苑の創立以来の歴史を、改めて細かく調べまとめた。中村早苗氏(本学園評議員、草苑保育専門学校講師)、菅原陽子氏(草苑保育園門学校講師)を編纂メンバー中心として、各関係先に資料提供、取材協力を仰ぎ、改めて建学の理念を意識し作成した。動画はホームページや各式典等で上映する機会を通して草苑への理解を周囲に深めることができた。

(2) 記念式典

2024年6月15日(土)にホテルニューオータニにおいて来賓、関係者約300名が出席し、礼拝と祝賀会を行った。これまでの感謝と、これからの社会を担う子ども・学生の保育、教育に更に教職員一同で熱意をもって取り組むことを示す機会となった。

(3) 講堂改修

改修に要した期間は2カ月、費用は総額で約54百万円であった。2024年9月19日に講堂改修記

念礼拝、12月7日に記念コンサート(レ・フレール)を行った。天井部分改修により、耐震対策がなされ安全、安心度が高まった。改修事業に賛同協力してくださった方々に感謝し、寄付者の銘板を講堂入口に設置した。また、青山学院から寄贈された十字架の設置は、建学の精神であるキリスト教の理念に回帰するシンボルとしたい。入学式や卒業式、幼稚園の行事にのみならず、近隣や関係者に対して講堂の貸出しを積極的に促進していきたい。

(4) 同窓会活動の再開

第5回ホームカミングデーを2024年12月21日(土)に開催した。例年に比べて保育現場における行事との重複が多く、参加者数は減少したものの、子どもと一緒に参加する卒業生の姿が多くみられた。このような参加形態の変化は、今後の企画においても考慮すべき傾向である。

昨年度に立ち上げた『草苑同窓会 LINE』では、ホームカミングデー開催案内をはじめ保育に関する研修会や講演会の案内、学校からのお知らせなどを月に1~2回配信した。その結果、卒業生の登録者は、前年度の約2倍となる246名に達した。今後は、ホームカミングデー開催日を保育現場の行事等を考慮し、より多くの卒業生が参加しやすい時期に見直すとともに、草苑への協力や支援の輪が一層広がるような取り組みを進めていく。

2.3.3 財政基盤の強化

(1) 学生・園児募集

募集の成功は学校法人経営の出発点である。2025年度の入学・入園者については、専門学校も幼稚園も、満足できる成果を挙げることができた。

(2) 専門学校納付金の確実な収納

例年同様、約半数の学生が日本学生支援機構の奨学金、保育士修学資金、分納のいずれかを利用している。

給付奨学金を利用している学生に対し、年に1回家庭基準の適格認定、半年ごとに行う学業成績の適格認定を行っている。学業の適格認定で、毎年数名の学生が学業不振で給付奨学金が打ち切りになっている点が課題である。

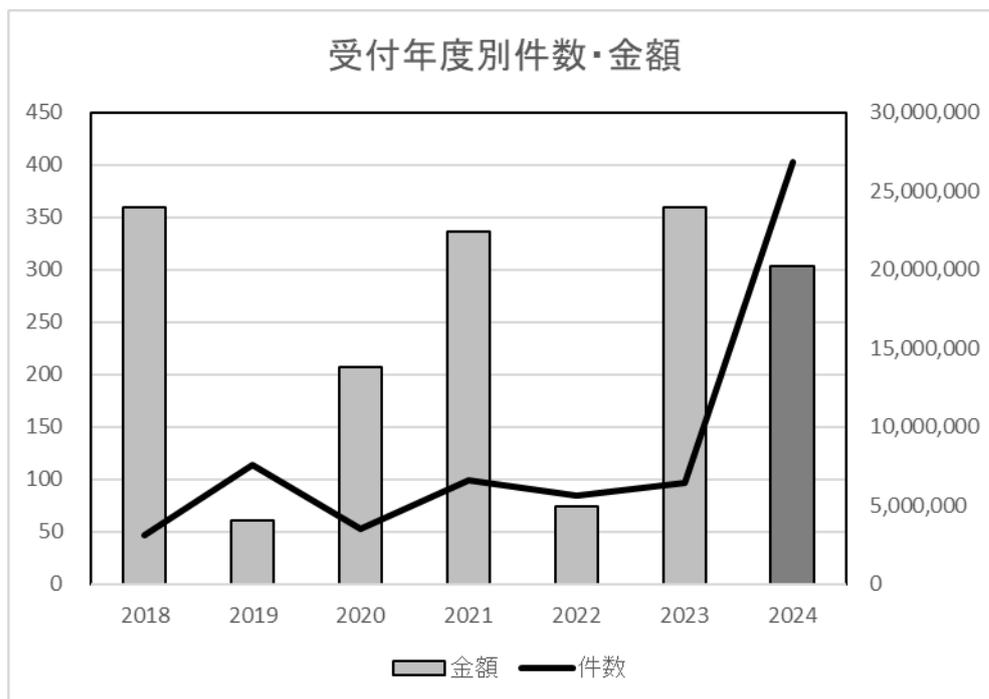
2.3.4 寄付募集

2019年に「草苑学園教育資金」を設定して「5年間で5千万円」を目標としたが、実際には2018年度から組織的な寄付募集に取り組んでおり、その実績はグラフのとおりである。(グラフは寄付を受け付けた年度で集計しており、入金年度で計上する決算の金額とは一致しない。)

個人からの寄付は、『草苑レポート』を通じた呼びかけに幼稚園・専門学校とも卒業生を中心に積極的な反応がある。特に2024年度に寄付者数・金額とも大きく伸びたのは、創立70周年として積極的に寄付を呼びかけたこと、クラウドファンディングに取り組んだこと、及び同窓会が再建されたことが大きい。

法人からは、毎年大口の寄付をいただいている。このように、個人・法人の双方からの積極的な寄

付があることは感謝である。



2.3.5 施設・設備

学園の施設・設備については、「安全」と「施設の長期維持」を優先しつつ、教育環境整備にもバランス良く投資できるよう計画的に整備を進めている。

2024年度は、創立70周年記念事業としての講堂改修に集中した。

案件	総工費	説明
講堂改修 ・内装全体を改修 - 正面に十字架(青山学院大学旧礼拝堂から移設)を設置し、礼拝の場にふさわしくデザイン。 - 舞台の周囲全体を階段化。 - 講堂の床材に環境負荷の少ないSPCフローリング ・吊り天井を、特定天井の規格に合わせて耐震化	54百万円	学園創立70周年記念事業。 礼拝にも、授業にも、行事にも活用できること、幼稚園でも利用できることを念頭にデザインした。 天井耐震化においては、国庫と私学財団から計177百万円の補助金を受けた。
専門学校事務局の改修 ・講堂との仕切り壁を法令適合に ・床のタイル・カーペットと教職員の机を交換	5百万円	講堂改修を契機に、壁や床を全面的に改良、併せて机も全面交換して、業務能率の上がる事務局になった。

3. 財務の概要

3.1 貸借対照表の概要

〔千円〕

	2023 年度	2024 年度	増減
固定資産	1,449,874	1,488,431	38,557
うち有形固定資産	1,448,621	1,482,430	33,809
流動資産	131,311	86,576	△ 44,735
資産の部合計	1,581,185	1,575,007	△ 6,179
固定負債	950,290	909,832	△ 40,458
流動負債	160,142	173,220	13,078
基本金	928,161	1,038,769	110,608
繰越消費支出超過額	△ 457,408	△ 546,814	△ 89,406
負債及び純資産の部合計	1,581,185	1,575,007	△ 6,179

3.2 資金収支計算書の概要

〔千円〕

	2023 年度	2024 年度
収入総額(=支出総額)	842,009	858,644
うち翌年度繰越支払資金	108,060	52,894

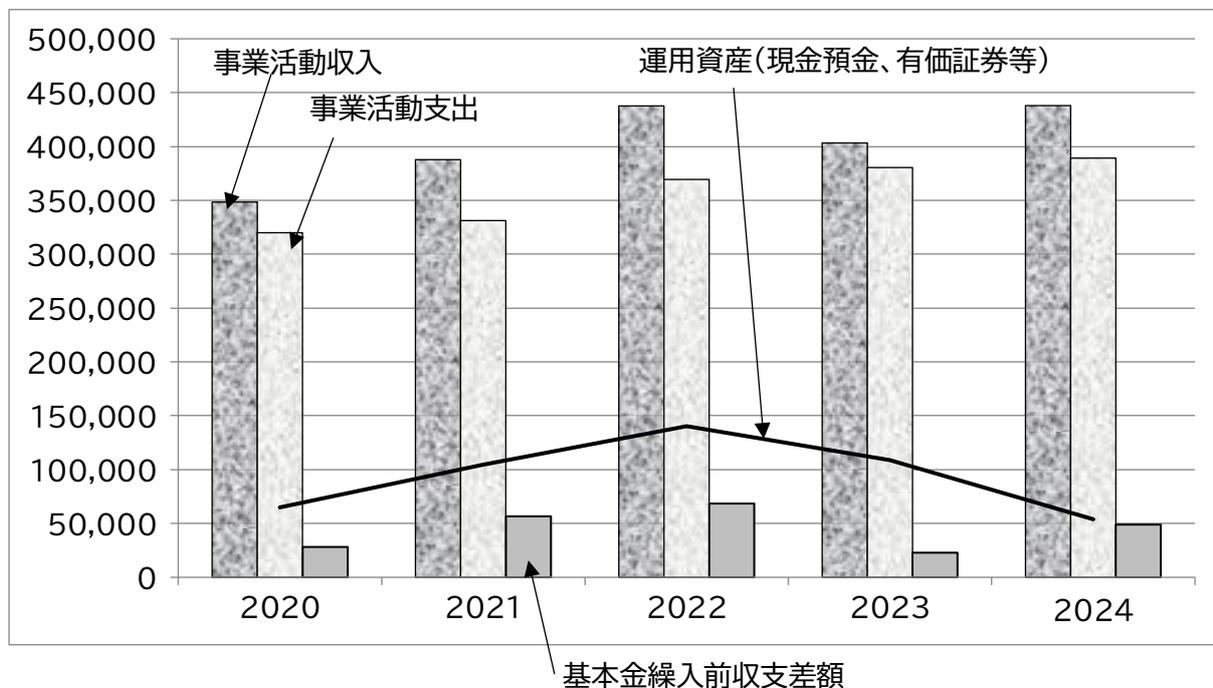
3.3 事業活動収支計算書の概要

〔千円〕

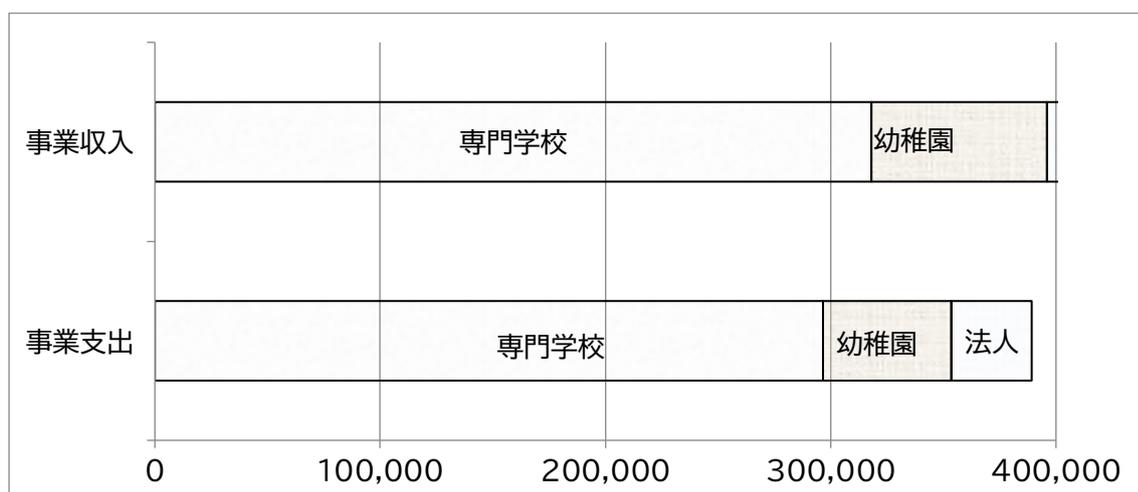
		法人	幼稚園	専門学校	全体
教育活動収支	収入	1,469	77,959	300,315	394,743
	支出	31,546	56,581	294,037	382,164
	差額	△30,077	21,377	6,278	△2,422
教育活動外収支	収入	49	0	0	49
	支出	13,691	0	0	△13,691
	差額	△13,642	0	0	△13,642
経常収支差額		△43,719	21,377	6,278	△16,064
特別収支	収入	20,212	0	17,732	37,944
	支出	0	642	37	679
	差額	20,212	△642	17,695	37,266
基本金組入前収支差額		△23,506	20,735	23,973	21,202

基本金組入額	△6,304	△6,096	△102,765	△115,164
当年度収支差額	△29,4810	14,639	△78,792	△93,962

3.4 5年間推移

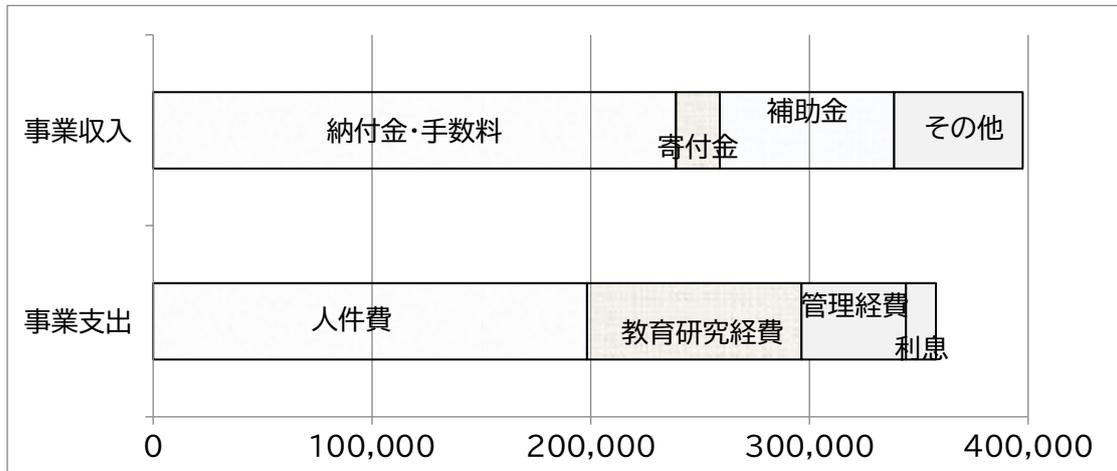


3.5 部門別の収支内訳

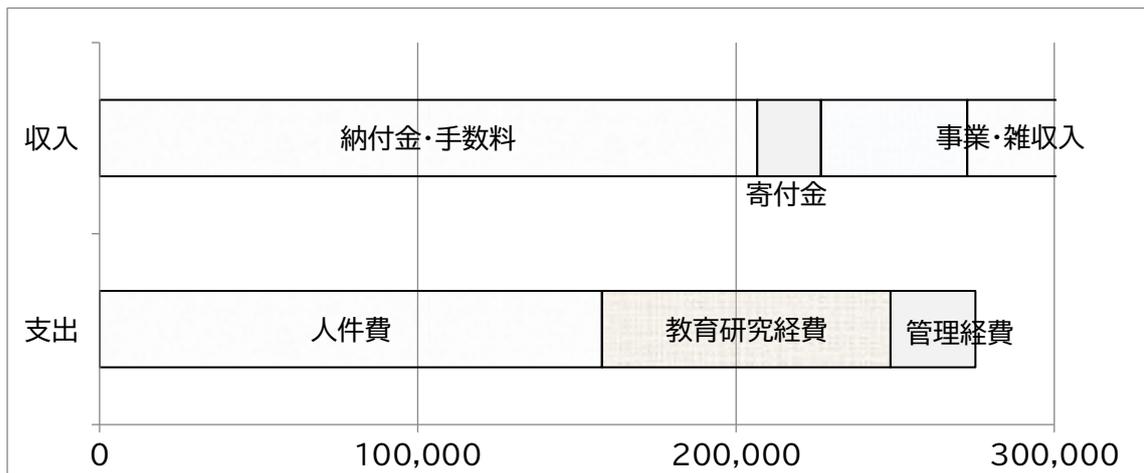


3.6 学校別の収支内訳

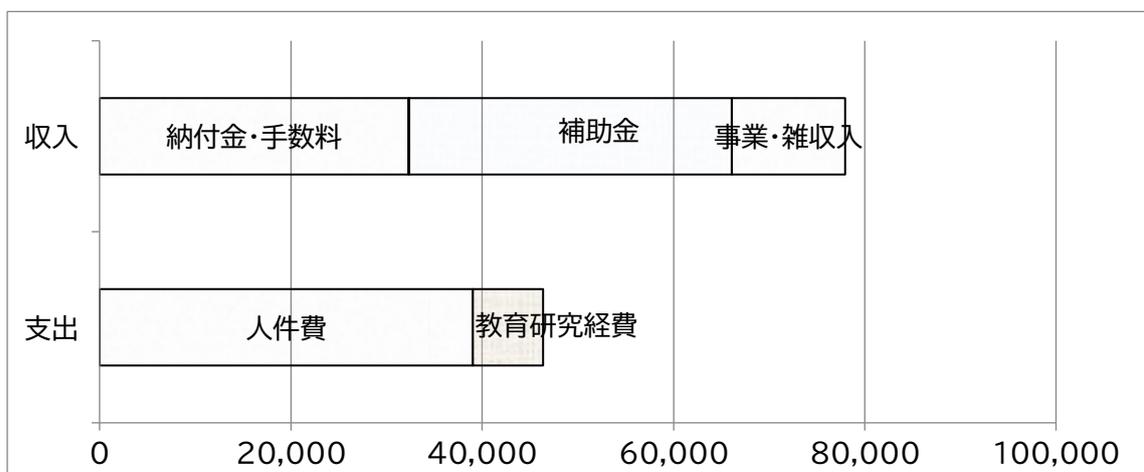
a) 法人全体の収支内訳



b) 専門学校の収支内訳



c) 幼稚園の収支内訳



3.7 主な財務比率

3.7.1 貸借対照表関係比率

比率名	定義	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	△高いほど良い ▼低いほど良い	
							↓	説明
純資産構成比率	純資産 負債+純資産	20.4%	23.5%	27.6%	29.8%	31.2%	△	純資産の充実度。
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 負債+純資産	-27.8%	-26.3%	-24.3%	-28.9%	-34.7%	△	各年度の消費収支差額の累計。
固定比率	固定資産 純資産	462.6%	389.6%	326.0%	308.0%	302.6%	▼	固定資産の自己資本に対する割合。
固定長期適合率	固定資産 純資産+固定負債	105.4%	103.7%	101.0%	102.0%	106.2%	▼	短期返済不要の長期的資金の割合。
有形固定資産構成比率	有形固定資産 負債+純資産	94.3%	91.6%	89.8%	91.6%	94.1%	▼	資産のうち、換金性のない校地・校舎・図書等の割合。
流動比率	流動資産 流動負債	53.7%	71.7%	91.7%	82.0%	50.0%	△	1年以内に償還すべき負債に対する返済余力。
運用資産余裕比率	運用資産△外部負債 経常支出	-3.4年	-3.1年	-2.6年	-2.4年	-2.4年	△	支出規模から見た資金蓄積の余裕。
前受金保有率	現金預金 前受金	63.7%	91.7%	127.4%	112.4%	53.0%	△	100%未満は翌年度の事業活動収入の先食い。
固定負債構成比率	固定負債 総資金	69.2%	64.9%	61.4%	60.1%	57.8%	▼	長期にわたって償還すべき負債が多いことを示す。

総負債比率	総負債 負債+純資産	79.6%	76.5%	72.4%	70.2%	68.8%	▼	負債+純資産のうち他人資本の割合。
負債比率	総負債 純資産	390.0%	324.9%	262.7%	235.9%	220.2%	▼	他人資金が純資産を上回っていないか。

※運用資産=流動資産+特定資産+有価証券
外部負債=総負債△(退職給与引当金+前受金)

3.7.2 支計算書関係比率

比率名	定義	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	△高いほど良い ▼低いほど良い	
							↓	説明
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	8.2%	14.6%	15.6%	5.7%	9.5%	△	学校の収支の基本的な指標。
経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	8.2%	14.6%	17.1%	5.7%	5.3%	△	特別収支を考慮しない収支差額比率。
減価償却額比率	減価償却額 経常支出	10.8%	10.3%	9.5%	8.5%	9.0%	△	減価償却額は実際の資金支出を伴わない。
学生生徒納付金比率	学生生徒納付金 経常収入	82.2%	79.1%	78.8%	80.4%	66.4%	△	専門学校の受託事業費も納付金に加えた。
寄付金比率	寄付金 事業活動収入	4.0%	3.5%	3.2%	1.0%	9.2%	△	私立学校の支援者獲得努力の指標。
補助金比率	補助金 事業活動収入	9.4%	12.6%	13.5%	14.6%	18.2%	△	2021年から専門学校の修学支援金が追加された。

人件費比率	人件費 経常収入	46.6%	44.5%	42.9%	48.4%	47.9%	▼	学校の最大の支出要素であるとともに 経営資源でもある。
人件費依存率	人件費 学生生徒納付金	71.5%	70.9%	67.1%	72.8%	84.8%	▼	専門学校を受託事業費も納付金に加 えた。
経費比率	教研経費+管理経費 経常収入	30.9%	27.5%	28.8%	34.5%	35.1%	△	教育水準維持の努力の指標。
借入金等利息比率	支払利息 経常収入	4.4%	3.8%	3.3%	3.4%	3.3%	▼	収入に対する利払いの比率。

※学生生徒納付金には、専門学校の訓練生受託収入も加算した。